

教材・支援機器活用実践事例(特別支援学校)

実践年度・タイトル		平成28年度 コットンボールライト
授業について	教科名等 (該当する教科名等を選択。当てはまらない場合はその他を選択し、次の単元・題材名の欄に記入。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数/数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作/美術 <input type="checkbox"/> 家庭/技術・家庭 <input type="checkbox"/> 体育/保健体育 <input type="checkbox"/> 道徳 <input type="checkbox"/> 外国語/外国語活動 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input checked="" type="checkbox"/> 各教科等を合わせた指導 <input type="checkbox"/> その他の教科 <input type="checkbox"/> その他( )
	単元・題材名	クリスマスの飾り作り
	授業の目標	(知)手順を覚えることができる。 (徳)3種類からデザインを選び、使う素材を決めることができる。 (体)指先の力や動きを調整し、水風船に素材を貼ったり、巻いたりすることができる。
	観点別学習状況の評価の観点 (教科の特性により設定した観点がある場合は「その他」を選択し記載。)	<input type="checkbox"/> 「知識・理解」 <input checked="" type="checkbox"/> 「技能」 <input checked="" type="checkbox"/> 「思考・判断・表現」 <input checked="" type="checkbox"/> 「関心・意欲・態度」 <input type="checkbox"/> その他( )
学習集団と子どもの実態	学校・学部・学年・人数	■特別支援学校 <input type="checkbox"/> 就学前 <input type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 高校生以降 <input type="checkbox"/> 特定されない 高等部3年 4人
	対象の障害	<input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱・身体虚弱 <input type="checkbox"/> 言語障害 <input checked="" type="checkbox"/> 自閉症 <input type="checkbox"/> 情緒障害 <input checked="" type="checkbox"/> LD(学習障害) <input type="checkbox"/> ADHD(注意欠陥/多動性障害) <input type="checkbox"/> その他
	子どもの課題 (特性・ニーズ)	<input checked="" type="checkbox"/> 見る <input checked="" type="checkbox"/> 聞く <input type="checkbox"/> 話す <input type="checkbox"/> 読む <input type="checkbox"/> 書く <input type="checkbox"/> 計算する <input type="checkbox"/> 推論する <input checked="" type="checkbox"/> 運動と姿勢 <input type="checkbox"/> 日常生活活動 <input checked="" type="checkbox"/> 不注意 <input type="checkbox"/> 多動性-衝動性 <input type="checkbox"/> 社会性・コミュニケーション <input checked="" type="checkbox"/> 覚える・理解する <input type="checkbox"/> その他 本学級は、自閉症の生徒が3名、知的障害・LDを併せ有する生徒が1名在籍している。また、そのうち過年度生1名で構成されていて、年齢や実態差が大きい。生徒Aは、端的な言葉がけや身体的な支援が必要であり、心理面が活動の取り組みに大きく影響する。生徒Bは、2語文程度の会話を理解することができ、見て理解することが得意であるため、見本を示したり、具体物やイラスト、写真を併用したりすることが有効である。生徒Cは、4語文程度の会話を理解することができ、平仮名で書かれた手順書や上手にできるポイント、終了時間を示すことで、活動へ安心感をもち取り組むことができる。生徒Dは、日常的な会話ができるが、指示された内容を覚え、順に遂行することが難しい。また、手指を細かく動かす作業等に苦手意識があり、消極的な一面もある。
ICT活用について	使用した支援機器・教材の名称と画像 (使用した支援機器・教材の名称を記載し画像を挿入。なお、特定の製品に特化した実践の場合は製品名を記載。)	
	活用のねらい	Aコミュニケーション支援( <input type="checkbox"/> A1意思伝達支援 <input type="checkbox"/> A2遠隔コミュニケーション支援) B活動支援( <input type="checkbox"/> B1情報入手支援 <input type="checkbox"/> B2機器操作支援 <input type="checkbox"/> B3時間支援) C学習支援( <input checked="" type="checkbox"/> C1教科学習支援 <input type="checkbox"/> C2認知発達支援 <input type="checkbox"/> C3社会生活支援)
授業に授け展開支援	授業展開と画像 (授業の様子、ICT活用場面の画像を挿入。)	(1)本時(1/2)の説明 ①見本を見る・点灯式の予告 ②手順の説明(板書・実演・上手にできるポイントの解説) ③作成個数・終了時間(板書) (2)使用道具・材料の確認 ①名札カードを貼ったトレーに水風船(同じ色8個)を入れる。 ※色で誰のものか見分けられるようにする。 ②トレーに毛糸・半紙・お花紙をそれぞれ入れる。(生徒共用) ③ボンド液の入った容器・平らで大きなトレー(机の天板サイズ)を用意する。 (3)作成 生徒A:生徒が材料を手に取り、教師へ渡し、教師が水風船に巻く、または貼る。 生徒B:教師が水風船をもち、生徒が材料を巻く、または貼る。ビニール手袋着用。 生徒C・D:一人で行う。※できあがったものは、ピンチハンガーにはさみ、乾かす。 (4)まとめ ①友達が作った作品を見る。(鑑賞) ②次時の予告(点灯式:生徒D企画司会進行) ※仕上がったコットンボールをライトに取り付けるのは、生徒Dと教師で行った。 
効果・評価	子どもの様子や変容および授業の評価	導入では、見本を提示し、点灯式の予告することで、じっと見たり、「きれい！作る！」「うまく作りたいなあ。」と生徒それぞれが興味を示した。また、手順を実演しながら説明し、上手に行うためのポイントを伝えることで、生徒Cがすぐに取り組み始めることができた。生徒Dは、手順を覚え、きれいに仕上げようと試行錯誤しながら取り組むことができた。生徒A・Bは教師の支援の下、最後まで活動に取り組むことができた。作成中は、材料を共用することで友達的设计を見たり、順番を待ったり、自分と友達の進捗を確認したりする様子が見られました。 まとめでは、お互いの作品を鑑賞することで、色合いや工夫している点など、お互いの良さを認め合う言葉や姿が見られた。題材や教材の準備、設定、座席配置を工夫することで、学級全員で取り組むことができた。